

いわき市

介護予防ケアマネジメント支援会議における

アドバイスまとめ集

(平成 29 年度～令和 3 年度)



令和 5 年 2 月

はじめに～作成の趣旨と活用目的～

本市では、団塊の世代が75歳以上になる令和7年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「生活支援」が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

特に「介護予防」は、要介護状態の軽減や悪化の防止だけでなく、高齢者が地域で自立した生活がおくれるよう、「高齢者本人の自己実現」「高齢者が生きがいを持ち、自分らしい生活をつくっていただく」ため、自立支援の観点が重要視されています。

この自立支援・介護予防の観点を踏まえて、要支援者等の生活行為の課題解決等、状態の改善に導き、高齢者の生活の質の向上を目指すため、多職種からの専門的な助言を活かし、ケアプラン作成者やサービス提供事業所の介護予防に資するケアプランの作成や支援を行うことを目的に、平成29年10月より「いわき市介護予防ケアマネジメント支援会議」を実施し、令和3年度までの間に計152回開催し、463事例の検討を行ってきました。

そこで、各専門職団体の協力のもと、これまでの介護予防ケアマネジメント支援会議におけるアドバイス内容や提供資料から、各項目におけるアセスメントのポイントや、より質の高いきめ細やかなサービス提供に繋がる助言を取りまとめた助言集を作成いたしました。

本助言集が、高齢者を支援する介護関係者の、高齢者の自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術の習得、高齢者の自立支援・重度化防止の充実に役立てられることを願います。

結びに、介護予防ケアマネジメント支援会議への御協力・御助言並びに本助言集の発刊にあたり、多大な御協力を賜りました専門職の皆様にご心より御礼申し上げます。

igoku

目 次

はじめに ～助言集作成の趣旨～

第1章 運動機能

- 1 運動機能アセスメント 2
- 2 ADL・IADLのアセスメント 13
- 3 基本的な機能訓練の考え方 19
- 4 体力評価の実施方法 30
- 5 興味・関心チェックシートの活用 37

第2章 口腔機能

- 1 口腔機能向上の意義 39
- 2 口腔機能アセスメント 44
- 3 口腔機能向上の方向性 56
- 4 口腔ケアの方法 57
- 5 食事前の確認事項 60
- 6 口腔周囲筋や舌筋の強化 62
- 7 服薬と口腔の関係 65

第3章 栄養

- 1 高齢者にとっての食べることの意義 72
- 2 アセスメントにおいて留意する点 74
- 3 栄養スクリーニング、アセスメントの実施 76
- 4 栄養改善の方向性 87
- 5 栄養は足りていますか？ 88
- 6 高齢者の低栄養対策のための食生活 89

第4章 難聴

- 1 加齢性難聴に関する支援Q&A 98
 - 資料1 難聴障害度質問票 106
 - 資料2 ありがたい配慮について 107
 - 資料3 補聴器相談医とは 108
 - 資料4 認定補聴器技能者とは 109

第5章 服薬

1 服薬状況アセスメント	112
2 薬剤使用上の留意点	117
3 医師や薬剤師に相談すべき状況	118
4 支援時の留意点	120
5 服薬による生活やADLへの影響を考慮する	121

第6章 介護予防ケアマネジメント

1 介護保険法に基づく自立支援	125
2 介護予防ケアマネジメント	127
3 高齢者の社会参画について	131

参考資料 介護予防サービス・支援計画表（記入例）	132
--------------------------	-----